

# 伝統木造建築 修復人材育成講座

## ～実測調査から修理計画へ～ in 茨城県大子町

主催 特定非営利活動法人 伝統木構造の会 共催 木の文化塾

伝統木構造の会では、昨年度2回にわたって『伝統構法による建築の修理技術研修会』を行いました。(第1回:平成21年11月、第2回:平成22年3月)。第2回では、地震で被災したことを想定した根継ぎや柱の取替などの技術研修を、茨城県大子町の板倉を事例として実施いたしました。その際、大子町には当該板倉以外にも、校倉造やせいろう組、貫構法などの伝統構法による板倉がたくさんあることを知りました。しかし、これらの板倉は一般にその存在と価値を注目されておらず、放置されているものも多く見受けられます。これらの板倉をその価値を損ねず使いやすく改修できたならば、伝統構法の良さを伝える良い事例となるでしょう。

そこで本講座は、実際の板倉を教材に、構法の特長を活かし且つ使いやすくする計画を設定し、実測・破損調査、修理計画、施工計画など一連の工程を、参加者が主体的に学ぶことで、伝統木造建築の修理を行うための技術を取得することを目的として企画いたしました。

カリキュラム上、全日程を通しての参加をお勧めしますが、一部参加でも受け付けいたします。また、会員・非会員を問わず、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

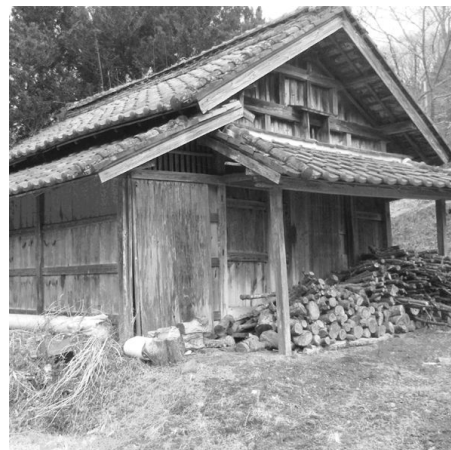
### 日程・内容:

- 第1回 平成22年12月11日(土)～12日(日) 「実測調査を行なう」
- 第2回 平成23年 1月29日(土)～30日(日) 「修理計画を作成する」  
(各回とも開会時間;初日13時、閉会時間;二日目15時予定)

第1回は参加者全員が各自実測調査を行ないます。板倉を事例として、一般図、軸組図、伏図、腐朽・破損図の作成を行い、木造建造物の構法的特徴の見方を養い、破損状況の診断方法、修理方針策定の考え方について学びます。

第2回では、各自設定した改修方針を踏まえた修理計画をたてます。部材構成表を作成し、部材の取替など施工方法と工程の検討も行います。

来年度は、今回の修理計画を受けて、実際に修理工事の過程を対象にした講座を開催する予定です。



「冥賀の里」の板倉

**対象:** 設計者、大工、現場監督、伝統建築に興味のある方

**講師:** 川村 哲夫 氏

文化財建造物保存技術協会を経て、故田中文男氏に誘われ真木建設に入る。その後、匠建築事務所を立ち上げ、大工、調査、設計と幅広く活躍。

**会場:** 茨城県久慈郡大子町

講座: 冥賀の里の板倉ほか予定

宿泊: のーんびりのさと (旧下野宮保育所)

**交通:** 電車/JR水郡線常陸大子駅下車 自動車/東京より約3.5時間

**参加費:** 各回9,000円 当日受付時にお支払いください。  
(宿泊費、3食(夜・朝・昼食)、懇親会費、資料・雑費含む)



大子町のある板倉

**申し込み方法:** 氏名・住所・職業・電話・E-mail・参加日程、交通手段をご記入の上、下記申し込み先へご連絡ください。  
各回3日前を締め切りとします。  
(第一回〆切:12/8水、第二回〆切:1/26水)

**問合せ・申込み先:** 伝統木構造の会

大子講習会専用E-mailアドレス: [denmokudaigo@gmail.com](mailto:denmokudaigo@gmail.com)

〈担当:梅田 携帯電話090-8327-7307〉

お申し込み受付後、詳しいスケジュールや、持ち物などメールにてご案内いたします。E-mailが使えない方は、お電話でお問い合わせください。



大子町の板倉のある風景